

サステナビリティ(持続可能性)の取組・環境キャンペーン補助金・SDGs貢献アプリに関するアンケート結果

2024年3月31日

公益財団法人日本セーリング連盟 環境委員会



アンケート概要

環境委員会は、セール・セーリング用品の不要品リサイクル等3R活動、競技大会の環境キャンペーン補助金活用、SDGs貢献アプリに関するアンケート調査を実施しました。

- 実施時期:2024年3月11日～31日
- 対象:加盟団体・特別加盟団体、その他
- 回収数:20団体
- 質問事項
 - ①3Rで取り組んでいること
 - ②リサイクル用品
 - ③再生可能エネルギーの導入状況
 - ④外洋クルーザー系の取組
 - ⑤特色あるサステナビリティに関する取組
 - ⑥環境活動に関して学習したいこと
 - ⑦実施してみたいサステナビリティ(持続可能性)に関する取組
 - ⑧競技大会における環境キャンペーン補助金の活用意向
 - ⑨SDGs貢献アプリの活用のご意向
 - ⑩環境学習の教材の利用しやすさ(追加)

アンケート結果概要

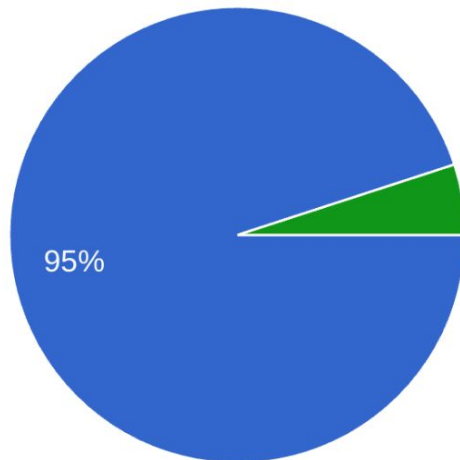
- ヨット艇体・装備等について、一部団体でセール・金属類の処分を業者に依頼したり、メンバーが3R活動に取り組んだりしている。ディンギー艇体や使い古したセール・シート類の処分に困る団体が3～4割であった。金属製品も処分に困る団体があった。半数の団体がリサイクルできそうなものは特にないと回答した。環境委員会で情報を取りまとめて、処分のニーズに対応する仕組みの構築が求められる。
- 艇の太陽光パネルの設置については、4団体(回答団体の20%)が実施していた。外洋クルーザーの取組で、汚染水排水管理(環境負荷のない洗浄剤利用)を3団体が実施していた。外洋・クルーザー艇の取組知見も収集・展開し、連盟活動として評価していく必要がある。
- 環境学習教材については、開発した環境学習教材は使いやすいという評価が見られた。海洋プラスチック問題・セーリングにおける3R活動・他団体の取組好事例を学習したいという団体が5割を超えた。引き続きターゲット別に効果的な教材を開発するとともに、評価・改善を図る必要がある。
- 環境キャンペーン補助金の継続意向に加えて、新規に対象大会となることを希望する団体が6団体に上った。インパクトを高めるため、制度を見直して行く必要がある。
- SDGs貢献アプリについては、半数を超える団体が活用意向を示したが、動機づけ・周知が必要である。環境キャンペーン補助金の要件とする方向性であり、より親しみやすく、可視化・発信に向けた活用方策の検討が必要である。

回答団体種別

加盟団体・特別加盟団体及びヨットクラブ20団体からご回答いただいた。

貴団体の種別についてお答えください

20件の回答



- JSAF加盟団体・特別加盟団体
- JSAF加盟団体・特別加盟団体の傘下団体（県連加盟団体、艇種別地域団体など）
- 学校・企業等のヨット部
- ヨットクラブ
- ハーバー・マリーナ施設管理者

①3Rで取り組んでいること

一部団体でセール・金属類の処分を業者に依頼したり、メンバーが3R活動に取り組んだりしている。

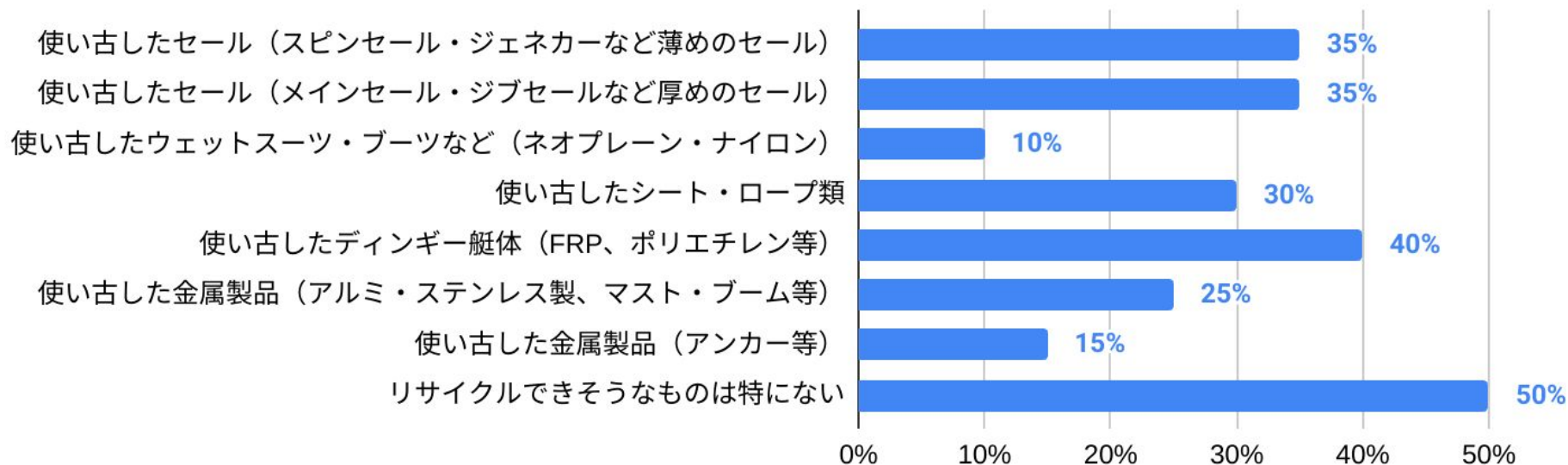
団体	取組内容
日本シーホッパー協会	大会時に選手個人の責任で中古ヨット用品を直接売買するコーナーを設置した例があります。眠っている用品が生かされるのでよい方法だと思います。(価格は当事者間で交渉)
大阪府ヨットセーリング連盟	古いセールをカバン製造業者に無償で
日本シーホース協会	金属類はヨット修理工場に返却して分別処分している。
網走セーリング協会	現在はまだ所有のコンテナ等に保管してる。そろそろ破棄を考えている。
外洋東京湾	団体としてではないが、会員に古いセールをアップサイクルしてバッグ等を制作している者がいる。
三浦外洋セーリングクラブ	ライフラフトなど遠距離航海に必要な機材の再活用を試行しています。
29er級協会	団体としてはありませんが、個人、クラブでの取り組みをしているメンバーはいます。

②リサイクル用品

ディンギー艇体や使い古したセール・シート類の処分に困る団体が3～4割であった。金属製品も処分に困る団体があった。

半数の団体がリサイクルできそうなものは特にないと回答した。

貴団体で使い古して保管しておりリサイクルに回せる、リサイクル・廃棄等処分したいが方法がわからず保管しているもの、あるいは使わなくなってリユースしたいものはどれですか。
(n=20)

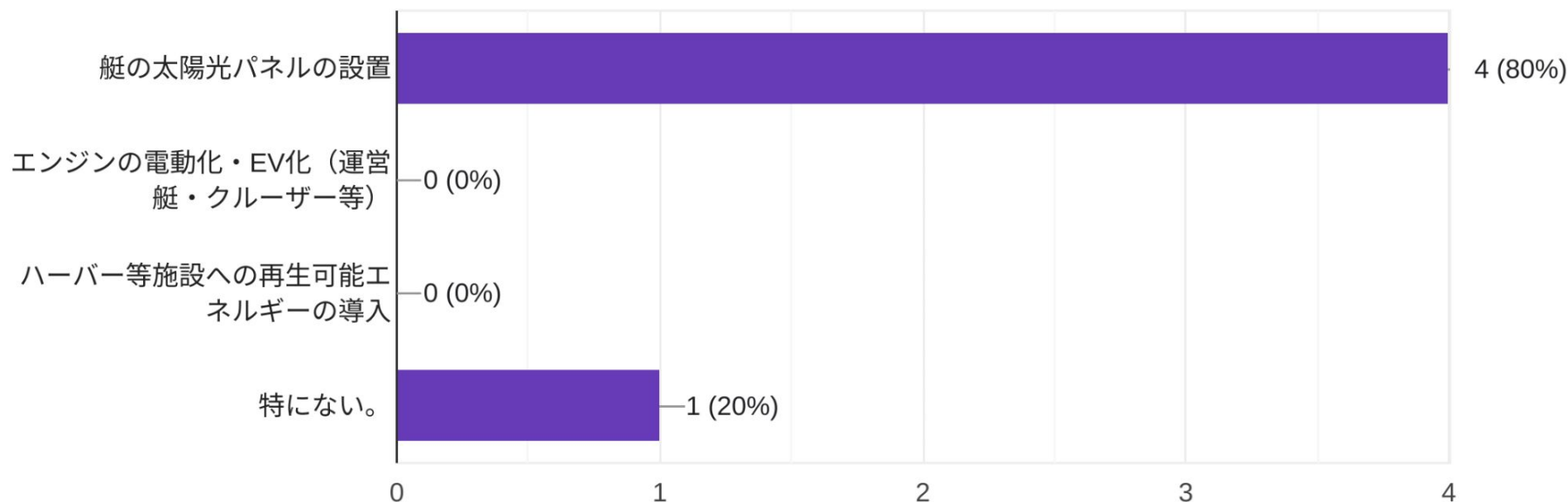


③再生可能エネルギーの導入状況

艇の太陽光パネルの設置については、4団体(回答団体の20%)が実施していた。

再生可能エネルギーの導入について、取り組んでいることがあればお答えください。

5件の回答

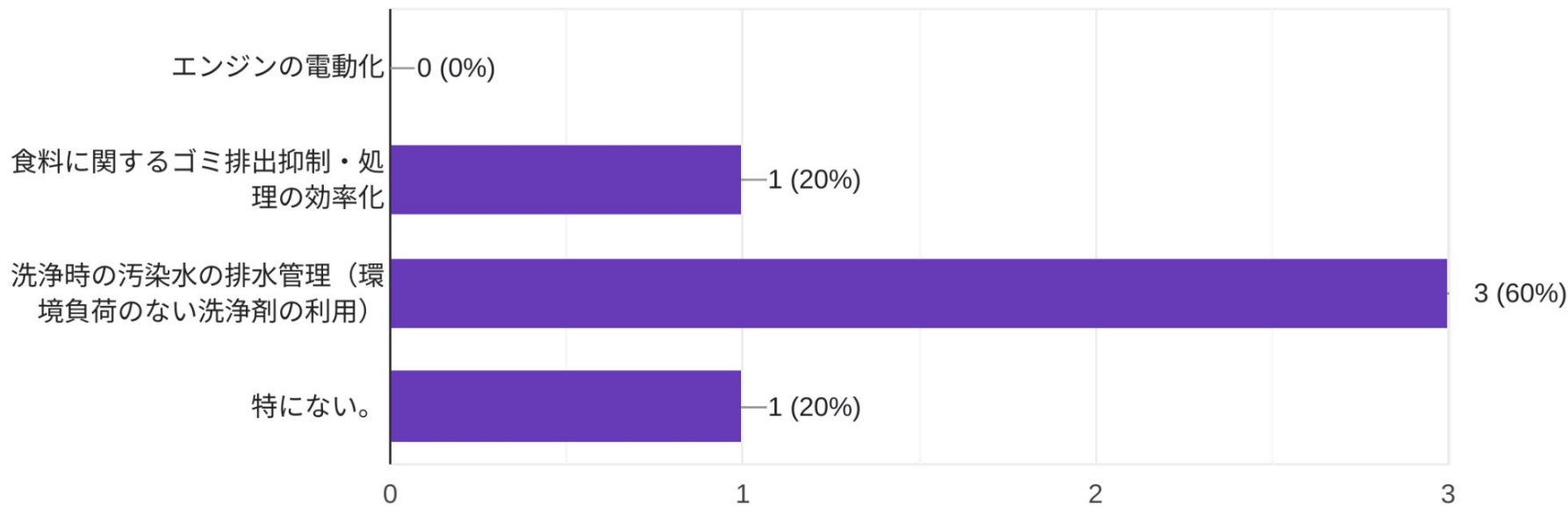


④外洋クルーザー系の取組

外洋クルーザーの取組で、汚染水排水管理(環境負荷のない洗浄剤利用)を3団体が実施していた。

外洋クルーザー系の取組があれば教えてください。

5件の回答



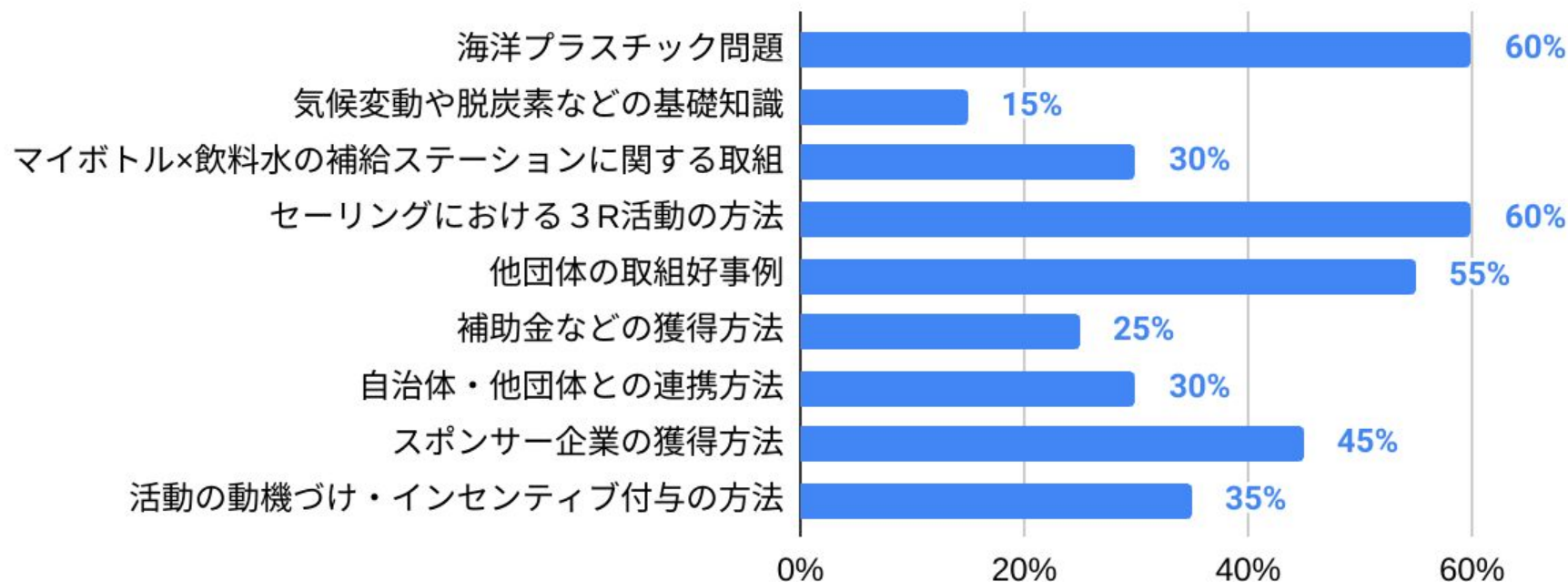
⑤特色あるサステナビリティに関する取組

団体	取組内容
全日本学生ヨット連盟	毎年開催される全日本学生ヨット選手権大会にて、海洋汚染の防止等を目的としてハーバー等開催地域の清掃活動等に参加学生が取り組んでいる
JSAF加盟団体外洋津軽海峡	ハーバー清掃
日本A級ディンギー協会	乗らなくなった艇を協会に寄贈していただき、大会でのチャーター艇として活用している。
網走セーリング協会	40年間継続して、網走港湾斜路、用地との清掃活動を継続している。海の日制定時から海やマリンスポーツの素晴らしさや怖さを普及啓もう目的で網走港沿岸にてクルーザー・ディンギーの無料体験乗船会や安全講習会を網走市の協力を得て一般募集にて継続して行っている。
一般社団法人 日本RSクラス協会	全日本選手権大会でのSDGs貢献アプリ活用、マイボトル配布、環境学習、不要セールエコバックワークショップなど
29er級協会	海上でゴミをみたら拾うようにしています。コーチボートに、釣り用のたも(柄つき)を配り、ゴムボートから拾いやすくしています。陸のゴミ拾いも大切ですが、海でみつけたゴミをこまめに拾うことも、自分達でできる取り組みだと考えています。ただ、こうして拾ったゴミをハーバーで捨てる場所がなく(有料ゴミになるため、引き取ってもらえないことがありました)、今後、改善されるとよいなと思います。海で拾い、家まで持ち帰って家庭ゴミで捨てる?のも、たいへんです。
一般社団法人 日本スナイプ協会	<p>貴連盟からの積極的な環境についての取り組み推奨も頂いておりますが、弊会におきましても環境委員会設置のもと2022年より、SDGSへの取り組みも開始しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各全日本大会開催前には、海上へペットボトル・プラスチックバッグを持ち出さないこと等を選手に周知。 ● 全日本大会中におきましても、ウォーターサーバーを設置やウォーターボトルを参加賞として作成。 ● 上記をSNSなどへ写真等も掲載し、会員の意識の向上を図る。 ● 昨年度の貢献度アプリの使用について、弊会としてもSNS等で告知。

⑥環境活動に関して学習したいこと

海洋プラスチック問題・セーリングにおける3R活動・他団体の取組好事例を学習したいという団体が5割を超えた。

(n=20)



⑦実施してみたいサステナビリティに関する取組

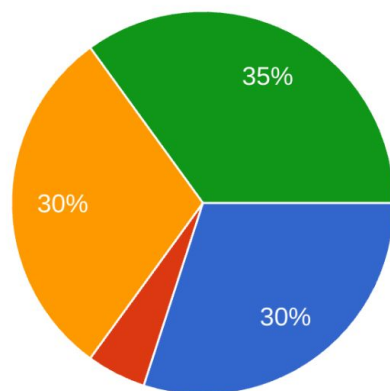
- 食事・飲み物におけるプラスチックの不使用及びマイボトルの使用
- 既存艇のメンテナンスには配慮している
- 艇用の機材だけでなく、乗員のウェアや靴などの再利用の取り組み
- ドリンクボトルを清潔に洗えるたわしを配る。水切りのできるゴミ袋を海上ごみ拾い用につくる。
- 大会等で会員の意識を保つような取り組みを引き続き行いたい。
(海上へペットボトル・プラスチックバッグを持ち出さないこと、マイボトル持参等を選手に周知等)。

⑧競技大会における環境キャンペーン補助金の活用意向

新規に対象大会となることを希望する団体が6団体に上った。

競技大会における環境キャンペーン補助金の活用意向について、ご回答ください。

20件の回答



- 現在対象大会で、引き続き支給申請したい
- 現在対象大会だが、2024年度の支給申請はしない
- 現在対象大会ではないが、新規に対象大会となることを希望する
- 現在対象大会ではなく、新規に対象大会となることは希望しない

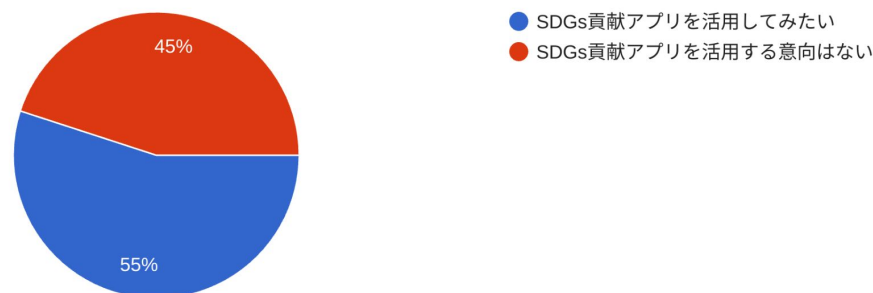
- 活用に至ってはまず選手の意向を汲みたい
- 現状の活動において必要としていないため
- 環境活動推進のため
- ウォーターボットの設置またはプラスチックごみ軽減に役立つための使用等
- 自治体と一緒にいる市長杯に環境キャンペーンの補助金を希望したい。

⑨SDGs貢献アプリの活用のご意向

半数を超える団体が活用意向を示したが、動機づけ・周知が必要である。

環境委員会は、セーラー・競技大会のSDGs貢献の可視化・評価を簡易に行うウェブアプリ「SDGs環境アプリ」の開発を完了し、2023年度に4大会でトライアルを実施しました。

環境委員会は、セーラー・競技大会のSDGs貢献の...アプリの活用のご意向について、ご回答ください。
20件の回答



- 関心をもってもらう。
- SDGsの周知普及
- 水域での活動も大事
- 外洋中心の会員にアプリを使用してもらうための、動機付けが難しい状況です。
- 利用のメリットがない
- クラス会員にアプリを紹介していきたいと思えます。
- 昨年度に試験的使用として参加させて頂きました。環境問題やSDGsへの取り組みへの成果は劇的に変化することはないかとも思いますが、このような地道な活動から多くの皆様に関心を持って頂く事が弊社としても必要な事だと感じ、また多くのデータを集約する為にはいかにアプリ使用参加者増加方法の検討が必要と感じております。

⑩環境学習の教材の利用しやすさ(追加)

開発した環境学習教材は使いやすいという評価が見られた。

(n=4)

